

『歯科健診支援絵カード』の使い方

療育施設では、生活時間の切り替えがうまくいかない子供に「絵カード」を見せて、次の課題や作業に行動を移すきっかけを与えるなどの、効果をあげているようです。

自閉症では聴覚よりも視覚が優位に働くといわれています。ですから、歯科健診の時に「口を開けて」と声をかけるよりも、「口を開けてミラーを口に入れている」絵を見せた方が、自閉症の子供には伝わりやすい傾向があります。

しかし、人間同士のコミュニケーションは対面・対話が基本です。あくまで「絵カード」は言葉を補助するものであり、言葉掛けを補うために使っているという気持ちを忘れないようにして下さい。まず、言葉をかけ、そのうえで絵カードを添えるような使い方を心掛けてください。

☆「絵カード」はコミュニケーションの為の補助ツールです☆

このカードを使用して、問題点、疑問点などお気づきのことは新潟県歯科医師会地域保健部までご連絡下さい。

みんなでより有用なカードを作っていきましょう。ご協力をお願いいたします。

～ 歯科健診を支援するための絵カードの内容一覧 ～



①はじめます

いすにすわります → 椅子に座って姿勢、顔面、お口の状態を外部から診査します。



②かおをさわります

→ 顎関節部の診査
※感覚過敏症のある自閉症は絵カードを提示しても嫌がる場合があります。



③くちをあけます

→ 口を開閉し顎関節の状態を診査します。



④イーをします

→ 口を閉じて歯列、咬合の状態を診査します。



⑤かがみでみます

→ 歯肉、歯垢の付着状態を診査します。



⑥くちをあけます

→ 歯の状態を診査します



⑦おしまい

→ 歯科健診はこれでおわりです